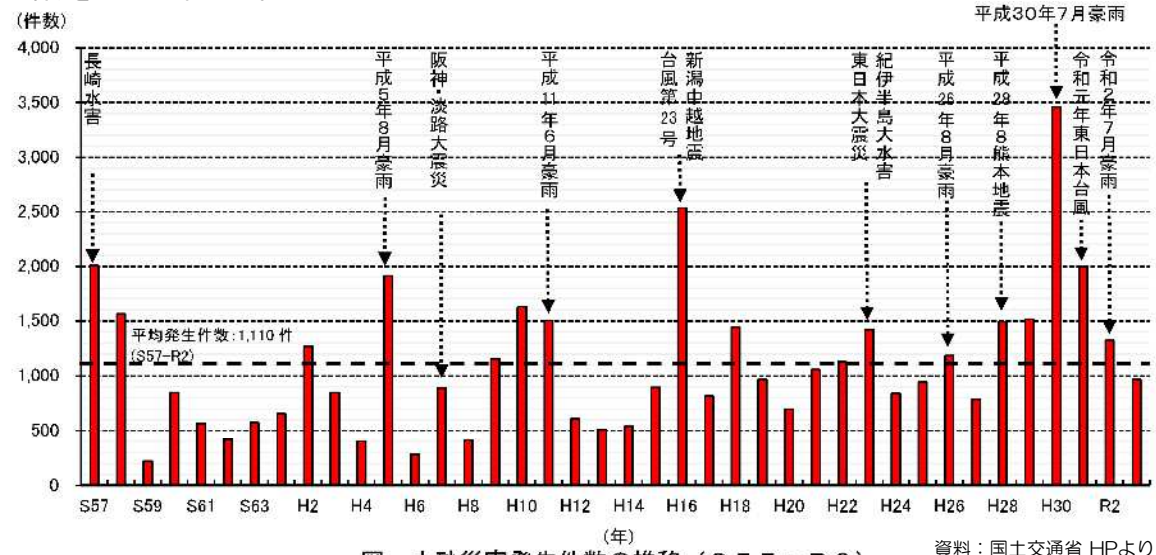
１３．2021年(令和3年)の土砂災害発生状況

○全国の土砂災害発生数の推移

2021年(令和3年)の土砂災害発生件数967件（土石流，地すべり，がけ崩れが発生した件数（火砕流は除く），1月1日から12月22日までの速報値）の土砂災害が発生した。

特に、8月には33都府県で件の土砂災害が発生し、直近10年（H23-R2）の同月における平均発生件数（177件）を大きく上回った。

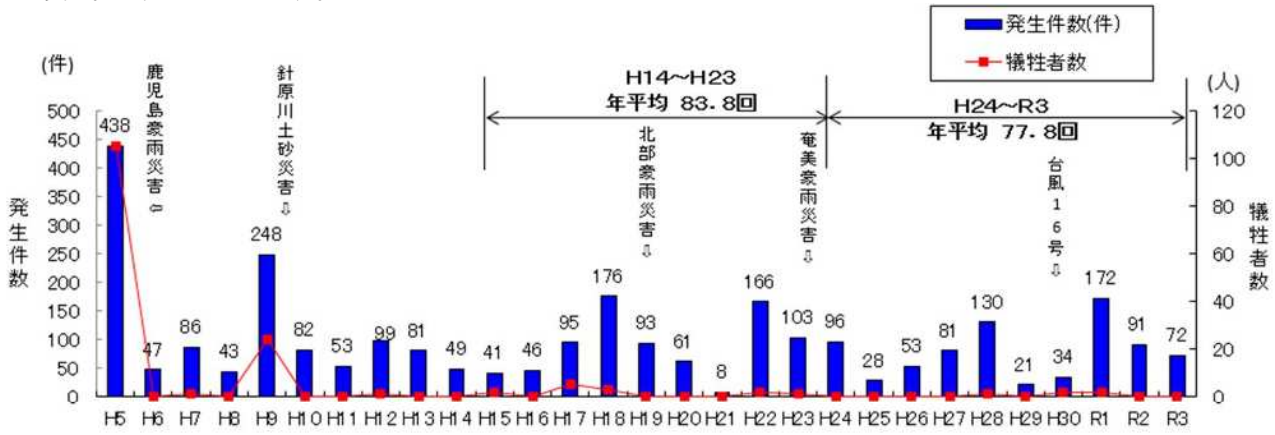


図．土砂災害発生件数の推移（Ｓ５７～Ｒ３）

資料：国土交通省 HPより

○県内の土砂災害発生数の推移

鹿児島県は，本土の大半がシラス等の特殊土壌に覆われ，台風や集中豪雨等により，毎年のように甚大な土砂災害が発生しています。



鹿児島県
881件

H24～R3の土砂災害発生件数

全国の土砂災害発生件数における
鹿児島県の割合（近年１０年間）
近年10年間：H24～R3

約6%が鹿児島県内で
発生している。

島県総面積：9,186km2）／（日本総面積：377,975km2）≒2%

2021年(令和３年)全国の土砂災害発生状況

○令和3年には、42の都道府県で967件の土砂災害が発生し、死者･行方不明者33名、人家被害291戸の被害が生じた。
○梅雨明け後の8月に、月別で最多となる448件の土砂災害が発生し、直近10年(H23-R2) の8月の平均発生件数(177件)を大きく上回った。
○7月及び8月に発生した土砂災害が、年間発生件数の約8割を占めた。(7月：285件、8月448件)

土砂災害発生件数
967件
土石流等：160件
地すべり：75件
がけ崩れ：732件

【被害状況】
人的被害：死者 32名
行方不明者 1名
人家被害：全壊 83戸
半壊 25戸
一部損壊 183戸

表1. 都道府県別の土砂災害発生件数 上位5県（速報値）

	都道府県	件数	死者･行方不明者数	過去10年最多 (H23-R2)
1位	広島県	129件	—	1243件 (H30)
2位	神奈川県	87件	—	214件 (R1)
3位	鹿児島県	85件	—	202件 (R1)
4位	長野県	59件	3名	100件 (R2)
5位	鳥取県	56件	—	45件 (H30)
	佐賀県			76件 (R1)

※これは速報値であり、数値等は今後変わることもあります。

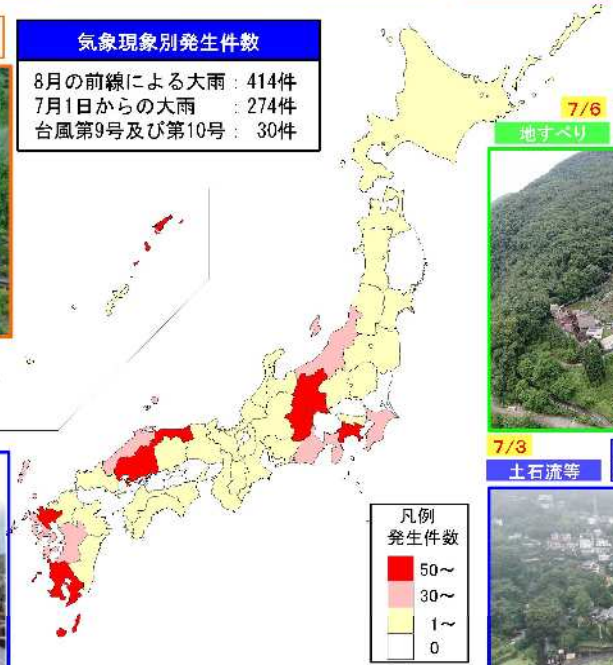
8/14 土石流等 広島県広島市西区田方

8/15 土石流等 長野県岡谷市川岸東

8/17 地すべり 熊本県天草市本渡町

8/12 がけ崩れ 福岡県八女市矢部村

気象現象別発生件数
8月の前線による大雨：414件
7月1日からの大雨：274件
台風第9号及び第10号：30件



7/6 地すべり 長野県長野市篠ノ井

7/8 土石流等 広島県三原市小泉町

7/3 土石流等 静岡県熱海市伊豆山

令和３年の土砂災害発生状況

資料：国土交通省 HPより